

03

武豊が誇る4つの魅力



文化

心を豊かにし 人をむすぶ 生涯学習のまち



町民会館(ゆめたろうプラザ)は、町民の文化・芸術を培う拠点施設として、音響に定評のある“輝きホール”を中心に広く活用されています。



全国的にも珍しい池の中に建つ町立図書館は、地域の知的活動拠点であるだけでなく、町民のランドマークにもなっています。

文化・芸術を通じ心を豊かに

学ぶこと、活動することにより、心が一層豊かになり、その人らしく生きていくことができる「心を豊かにし 人をむすぶ 文化をつくる 生涯学習のまち」を目指しています。

文化・芸術の拠点である町民会館(通称:ゆめたろうプラザ)では、コンサートや演劇等に使用できる「輝きホール」、小編成のクラシックコンサートに使用できる「響きホール」やギャラリー・スタジオを擁し、町民だれもが多様な文化・芸術とふれあうことができます。NPO法人と協働で運営を行う全国でも珍しい会館であり、平成25年度には地域創造大賞を受賞する等、全国からも注目を浴びています。

また、自分らしく生きるため、暮らしやすく魅力あるまちづくりのために、町民のみなさんがそれぞれの目的に応じた学習や活動を繰り広げています。



04

武豊が誇る4つの魅力



産業

伝統産業を受け継ぐ 歴史色づくまち



現在でも5軒の蔵元では、木桶による伝統的な醸造方法で味噌・たまりが造られ、伝承された技術で味を守り続けています。



地域交流施設の敷地内には芝生広場や遊具があり、イベントも開催され、憩いや交流の場にもなっています。

地域振興と産業・観光の新たな拠点施設

温暖な気候と良質な水にも恵まれ、江戸時代から味噌・たまり醸造が盛んに行われていました。明治19年には国鉄武豊線(現JR武豊線)が、その3年後には東海道線全線が開通し、販路が拡大されました。さらに明治32年には武豊港(現衣浦港)が県下初の開港場となり、日本各地のみでなく海外にも輸出され、飛躍的な産業の成長を遂げてきました。現在に至っても、武豊の味噌・たまりは全国でも名高い特産品として知られています。

町には、こうした味噌・たまりをはじめとした産業や観光を発信する拠点施設である「地域交流施設」があります。特産品の物販やフードコートを設けた「まちの駅 味の蔵たけとよ」や町の歴史産業や観光情報の発信を行う「地域交流センター」が併設され、全国から訪れる多くの方に武豊の魅力を発信しています。

